

フ R

プロトタイプマラサイ

機体名	プロトタイプマラサイ	画像
型式番号	RMS-18E-proto	
英語名		
所属		
パイロット		
装甲材質		
装備		
作品名		
参考書籍	電撃ホビー 2001.6	

内容

NT-1 によって破壊された MS-18E を回収した連邦軍は、終戦後にそのデータをベースとした新型量産機の開発に着手する。

驚異的な機動力と大胆な曲面構成による防弾性の高さを活かしつつ、防御力向上のためにコクピットまわりの装甲強化を行い、開発中だったアクティブ・バインダーを装備して完成したテストベッドは MS-18E のパーツの大半が流用された非常にピーキーな機体だった。

そのため、本格的な開発が進むにつれ、外観を含めて幾度かの再設計が行われている。

開発当初の型式番号はベース機にあわせて便宜上 RMS-18E-proto とされていたが、本格的な量産化の際に開発工場であったグラナダを示す「10」と組み合わせた RMS-108 に改められ、マラサイの名が与えられている。

備考

非常に面白い設定なのだが、マラサイの項目を見ればわかる通り、この設定には矛盾あり。

あくまでも模型を楽しむ為の設定である。

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	
全長	
本体重量	
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	